

□概要

欧州航空機メーカー(Airbus)の機体製造で排出される**炭素繊維端材**をマット化した**リサイクル炭素繊維(rCF)**を用い、**航空機用シート骨格部品**へ再利用させるリサイクルシステムを確立する。



□内容

従来技術(現状)

リサイクル炭素繊維(rCF)の最適成形技術

現状のrCFは厚く(3mm)、ランダム散布積層不可 → 用途が無い



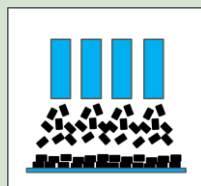
<ランダム積層技術>
旧サポイン事業で確立

シート重量 7~10kg/席
(アルミ材使用)

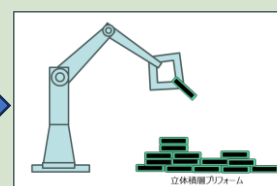
研究開発後の技術(目指す姿)

①ランダム散布積層+②ロボットによる最適配向積層

※材料供給:独Fraunhofer研究所



①ランダム積層



②最適配向技術



航空機シート

シート重量 2kg/席
(rCF使用)

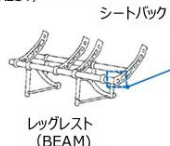
軽量化:約1/3~1/5実現

□期待される成果または展望

- 製品：航空機用シート部品用材料
- 販売先：航空機用シート製造メーカー
- 価格：3,400円/枚(加工費のみ)
- 数量・売上額：36,000枚・1億2千万円
- 販売開始：2030年頃

【適応部品】

1. シートバック
(背もたれ骨格)
2. レッグレスト
(BEAM)
3. レッグレスト
(REST)



・本技術を自動車等のモビリティ用途、スポーツ用途等への横展開で事業性を高める
・北陸地域や国内自動車部品加工事業者(プレス形企業、CFRP関連企業)の受注増を見込む